

平成

武田城下町絵図

甲府五山

長禅寺・円光院・法泉寺・能成寺・東光寺
臨済宗に深く帰依していた信玄が、京都五山になぞらえて制定したものです。

長禅寺

第一座。南アルプス市から愛宕町に移し、生母大井夫人の菩提寺としました。夫人の墓があります。



能成寺

武田信守が菩提寺として八代郷に建立した寺院で、信玄の時に甲府へ移し（場所は諸説あり）、後現在地（東光寺町）に移りました。



東光寺

鎌倉時代には五山十刹に次ぐ由緒を持つ古刹。室町建築の仏殿は国の重要文化財、庭園は鎌倉中期の特徴を有する県名勝。嫡男義信や、娘婿諏訪頼重の墓があります。



山梨大学赤レンガ館

歩兵第四十九連隊（甲府連隊）が食料庫として使っていた建物を補修し、教育資料の展示を行っています。建物は明治期洋風建物として、県内現存最大規模の煉瓦建造物です。

玄法院の時の鐘

第二次大戦の時に金属供出されるまで境内にあった鐘楼は「玄法院の鐘」と呼ばれ、時の鐘として親しまれていました。



浄興寺にある県内最大の六角石鐘



天明7年銘の満蔵院の狛犬。市内で確認されている中では最も古い石製狛犬の一つ

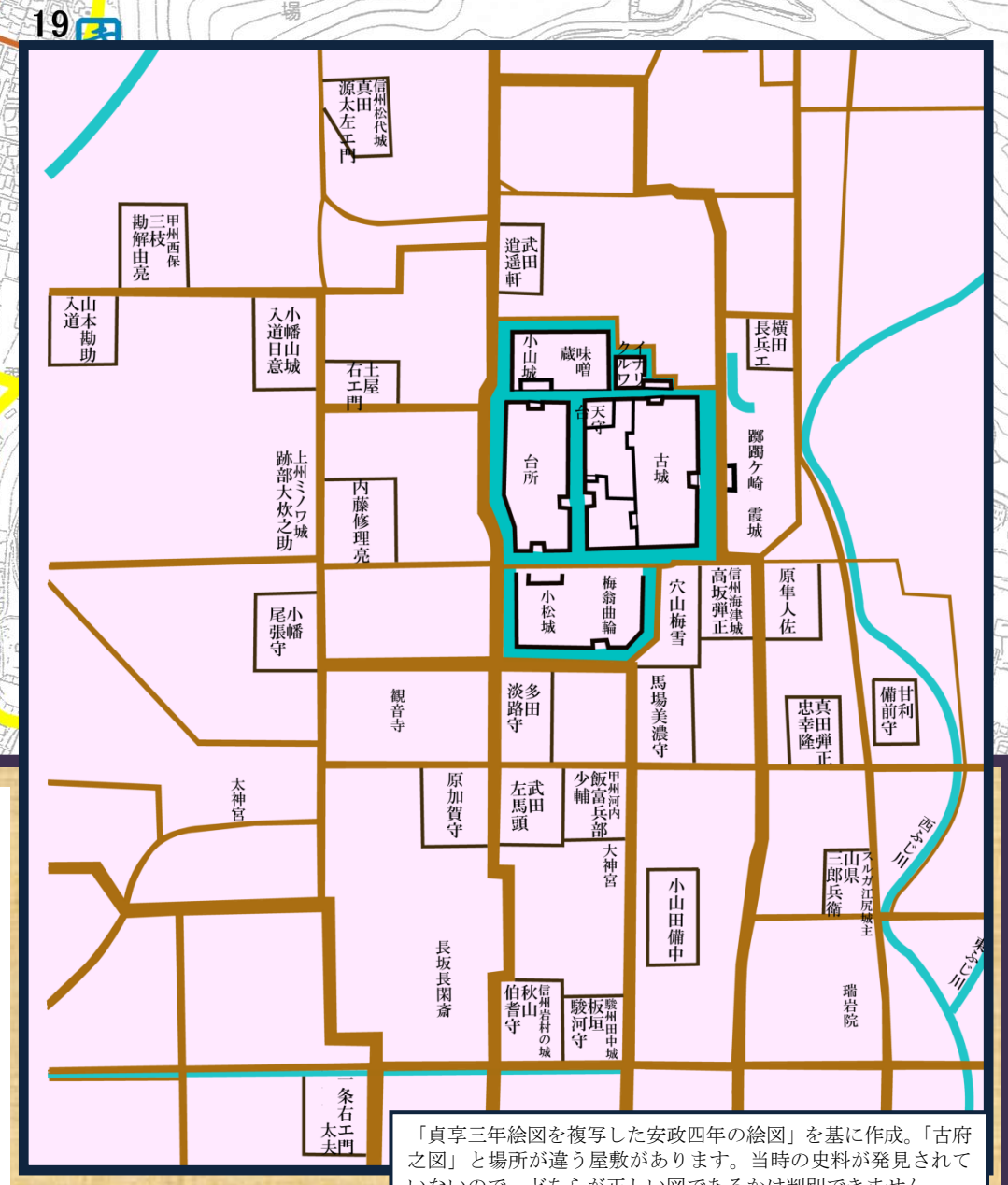
『甲府略志』の「古府之図」を基に作成した、武田二十四将の屋敷配置図。現在、比定地には案内看板が設置されています。なお、家臣の屋敷絵図はいくつかありますが、それらは全て後世に作られたもので、比較的武田時代に近い「貞享三年絵図を複写した安政四年の絵図」（個人蔵）には、二十四将以外の重臣・家臣の屋敷が細かく書かれています。

まっぷ凡例

- 二十四将屋敷地跡
- 姿を消した史跡
- 河川・堀
- 今も残る水路
- 武田関連寺社
- 其他寺社
- 古い道路
- 見所

1. 恵連院 2. 興因寺 3. 積翠寺 4. 長宝寺 5. 宝積寺 6. 愛宕社跡 7. 禅林院 8. 若宮八幡神社 9. 興国寺 10. 武田神社 11. 古八幡社 12. 祇園社跡 13. 大神宮跡 14. 金山神社 15. 永慶寺跡 16. 円光院 17. 大泉寺 18. 甲斐惣社八幡宮 19. 華光院 20. 愛宕神社 21. 八雲神社 22. 妙遠寺 23. 行蔵院 24. 満蔵院 25. 法華寺 26. 清運寺 27. 六角堂 28. 伊勢の森跡 29. 金幣神社 30. 要法寺 31. 梅屋敷天満宮 32. 玄法院 33. 御崎神社 34. 法泉寺

○1. 聖道墓 ○2. 躑躅ヶ崎亭跡 ○3. 武田信玄火葬塚 ○4. 長坂長閑斎邸跡



「貞享三年絵図を複写した安政四年の絵図」を基に作成。「古府之図」と場所が違う屋敷があります。当時の史料が発見されていないので、どちらが正しい図であるかは判別できません。